



平成 27 年 11 月 10 日

会 社 名 大東紡織株式会社
代表者名 取締役社長 山内 一裕
(コード：3202、東証・名証各第1部)
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 三枝 章吾
(TEL 03-3665-7816)

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績との差異 および平成 28 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想（平成 27 年 6 月 29 日付公表）および個別業績予想（平成 27 年 5 月 19 日付公表）と、本日公表の実績につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。また、平成 28 年 3 月期通期業績予想（平成 27 年 6 月 29 日付公表）を修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異

(1) 平成 28 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績との差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,550	100	△40	24	0.80
今回実績 (B)	2,809	208	126	172	5.77
増減額 (B-A)	259	108	166	148	
増減率 (%)	10.2	108.9	—	619.5	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	2,812	10	△138	△152	△5.09

(2) 平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想と実績との差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,920	170	10	5	0.17
今回実績 (B)	2,122	215	92	79	2.67
増減額 (B-A)	202	45	82	74	
増減率 (%)	10.6	27.0	820.7	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	2,287	152	12	5	

(3) 差異の理由

(連結)

売上高は、紳士服販売事業の撤退に伴うさよならセールや一部事業譲渡の効果および民需ユニフォーム事業の受注が好調であったことにより、業績予想を上回りました。

損益面では、紳士服販売事業および民需ユニフォームの売上増に伴う売上総利益の増加や商業施設事業の粗利率改善に加え、販売管理費の削減もあり、営業利益が業績予想を上回り、さらに、支払利息の計画比減少と保有株式売却益の計上により経常利益が業績予想を上回りました。これに、特別利益の計上があったため、親会社株主に帰属する四半期純利益が業績予想を上回る結果となりました。

(個別)

売上高は、紳士服販売事業の一部事業譲渡の効果および民需ユニフォーム事業の受注が好調であったことにより、業績予想を上回りました。

損益面では、紳士服販売事業および民需ユニフォームの売上増に伴う売上総利益の増加や商業施設事業の粗利率改善に加え、販売管理費の削減もあり、営業利益が業績予想を上回り、さらに、支払利息の計画比減少により経常利益、四半期純利益ともに業績予想を上回る結果となりました。

2. 通期業績予想の修正

(1) 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,210	百万円 310	百万円 40	百万円 100	円 銭 3.34
今回修正予想 (B)	5,390	310	70	125	4.18
増減額 (B-A)	180	0	30	25	
増減率 (%)	3.5	0.0	75.0	25.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	5,937	△232	△519	△644	△21.52

(2) 修正の理由

(連結)

売上高は、第2四半期累計期間において前回発表予想を 259 百万円上回りましたが、下期においては各部門で市場環境の回復の遅れが見込まれていること及び商業施設事業においてテナント入替に伴う賃料減などが見込まれることから、通期では 180 百万円の増加に留まる見通しです。

損益面では、原材料コスト増や商業施設の追加リニューアル工事実施に伴うコスト増などが見込まれることから営業利益は前回発表予想を据え置くものの、第2四半期累計期間において保有株式売却益を計上したことにより経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の各段階で前回発表予想を上回る見通しです。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上